

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・体験したことや調べて分かったことなどを、新聞やポスターにまとめる活動を行うことで、理解の定着につなげることができた。
- ・ICT機器を活用し、教科書や資料集以外の様々な資料を用いて指導したことで、多面的に考えられようになった。

(2) 課題

- ・表やグラフの数値から何が言えるのかを考え、表現することに課題が残った。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	≡	/	/
第5学年	△	≡ (第4学年時)	/
第6学年	△	△ (第5学年時)	△ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値と比較すると同程度である。	目標値と比較すると上回っている。	目標値と比較すると上回っている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値と比較すると上回っている。	目標値と比較すると上回っている。	目標値と比較すると上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・地図記号や方位、都道府県名の理解は、他の知識と関連付けながら学習する場を設けたり、地図帳で確認する習慣を付けさせたりして定着を図る。・社会科の見方、考え方を明確にし、教師の説明の時間を確保することで確実に理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・見学や体験をしたり調べたりして分かったことなどを、新聞やポスターにまとめる活動を継続的に行う。・資料の数値を正確に読み取る力を身に付けさせ、資料の特徴やどんなことが言えるかを考える機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none">・見学や体験活動を多く取り入れ、生活と結び付けられるよう工夫し、児童が主体的に取り組めるようにする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・授業の振り返りの際に、分かったことや分からなかったことを自分の言葉でまとめる時間を確保する。・実物を見ることが難しい場合は、ICT機器を活用して映像資料を提示する。・社会科の見方、考え方を明確にし、教師の説明の時間を確保することで確実に理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・様々な視点を与えることで、多面的、多角的に考えられるようにする。・資料に必要な情報を読み取ったり、資料の特徴を話し合い、確かめる時間を確保する。・ノートや新聞などにまとめる活動を充実させ、伝えたい内容に合わせて適切な図や表を使って表現できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・単元の終わりに、学習内容について探究する時間を設定し、すすんで考えたり調べたりできるようにする。・授業の振り返りの際に、疑問に思ったことやさらに調べたいことを考える習慣を付けさせる。